# 2023年度

# 事業報告書

2023年4月1日~2024年3月31日



学校法人 東北学院

# 目 次

理事長	長挨拶	• 1
I. %	<b>法人の概要</b>	
1.	基本情報	. 7
2.	東北学院建学の精神、スクールモットー [LIFE LIGHT LOVE]、東北学院教育の基本方針及び	
	学校法人東北学院の経営理念	. 7
3.	設置する学校・学部・学科等 ····································	. 8
4.	沿 革	. 0
5.	役員等の一覧	12
6.	法人の主要な審議機関等	15
7.	教職員の概要	15
8.	設直字校・教育研究組織	16
	争務組織	
	八子疋貝、柵八子疋貝、収谷疋貝、心願有奴、八子有奴、任霜有奴及U'返子'除霜有奴 ····································	
12.	修了者数、卒業者数及び卒園者数	20
13.	授業料、入学金その他学校が徴収する費用	21
14.	所在地 ····································	22
Ⅱ. 틬	事業の概要	
	学校法人東北学院	
2002	子仪広八泉北子院 3年度事業総括 ····································	25
	十尺事未続近 『 <mark>育・研究》</mark>	ے۔
1	宗教活動及び一貫教育への支援 ····································	25
2.	自校史教育による建学の精神を浸透させるための体制の確立(特別重点施策)	26
3.	本院施設全体の状況や社会情勢等も視野に入れた中期年次計画の策定(特別重点施策)	26
4.	建学の精神の理解を深めるための研修会等の見直しと実行	26
5.	デフォレスト館を中心とした歴史的建造物の適切な保存整備活用	26
6.	既存施設・設備の計画的な整備	26
	理運営》	
	ミッション・ビジョンの浸透を図るためのインナーブランディングの確立 (特別重点施策)	
	ミッション・ビジョンの浸透を図るためのブランディング戦略の策定と実施(特別重点施策)	
	学校法人運営に関するガバナンス・コードの制定・運用(特別重点施策)	
	ICT 化による会議運営の効率化かつ効果的な運用 (特別重点施策)	29
	教員・職員の職項を越えた教職員能力開発・賃賃回工に向けた研修及びプロジェクト型未務の快 討実施(特別重点施策) ····································	20
	五橋キャンパス供用にかかる事務組織改編と運用(特別重点施策) ····································	
	設置各学校における在校生の愛校心を醸成するための卒業生とのネットワーク形成	
8.	会議体の整理統合による迅速かつ適切な意識決定のための体制強化	30
	専任・非専任職員の業務の再定義に基づく人員の最適化	
10.	教職員・学生・生徒の人権を尊重した組織・教育環境の変化	30
11.	多様な教職員が活躍できるダイバーシティの推進	30
	様々な危機を想定した危機管理体制の充実	
	寄付金をはじめとした収入の多角化	
	新型コロナウイルス感染症への対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
15.	業務の外部委託化検討と㈱TGサポートとの提携	31
В	東北学院大学	
	3年度事業総括 ······	32
≪教	<b>宿・研究≫</b>	
1.	内部質保証のためのアセスメント・プランの着実な実行(特別重点施策)	35

	.  東北字院の教育万針」(押川 (1891)) を基礎とし、時代に即した教字組織編制と教養教育及び	
	専門教育が接続した教育の提供(特別重点施策)	36
3	. 高等教育開発におけるインストラクショナルデザインと体系的な FD プログラム構築と運用(特	
	別重点施策)	36
4	. 教養教育と専門教育の接続を有機的に行い、キャンパス統合のメリット及び総合大学としての強	
	みを活かした東北学院大学の教育力の向上(特別重点施策)	38
5	. 大学院教育の抜本的改革の実現(特別重点施策)	41
6	. 産学官連携による共同研究強化(特別重点施策)	41
	. 学修成果の可視化のためのe-Portfolioの構築と運用(特別重点施策)	
	. 学生の能力を向上させるための教学支援の体制構築、実行(特別重点施策)	
9	. 英語力向上のための教育プログラムの見直し、強化(重点施策)	44
	. ICT を活用した教育・学習環境の実現と BYOD (Bring Your Own Device) 導入による多様な	
10	- 101 と信用した教育 「子音衆衆や吴兆と B10D (Bling 10th Own Device) 等人による多様な - 授業形態の提供 (重点施策)	11
11	- 充実した学生生活を送るための学生支援体制の整備(重点施策) ····································	
11	. 光失した手生生行を送るための手生文後体制の強化(重点施策)	10
12	. 子生を取過な延路に導くための就職又接体制の強化 (重点施泉) . 教学上の「三つの方針」について「学位授与の方針 (DP)」「教育課程編成・実施の方針 (CP)」	40
13		_1
1.4	「入学者受入れの方針 (AP)」	51
14	. 補助金、研究助成金等 ····································	51
		56
	社会貢献》	
	. 地域の持続的発展に貢献するためのボランティアステーションの体制強化(特別重点施策)	57
2	. 地域連携強化及び地域貢献に繋げるための正課・正課外における地域フィールドワークの実施	
	(特別重点施策)	
	. 地域社会との共生をめざした企画・運営の検討・実施(特別重点施策)	
4	. 地域社会の幅広い年齢層に向けたリカレント教育の体制構築(重点施策)	60
«	管理運営≫	
1	. 設置学校からの入学者の質的向上と定員の確保(特別重点施策)	61
2	. 東北地方以外からの志願者数を確保するための広報活動の充実(重点施策)	63
20	<b>東北学院中学校・高等学校</b> 23年度事業総括	64
	. 共学化を始めとする学校改革 <b></b>	
	. 適切な進路指導を行うための教員研修会の開催(特別重点施策)	
3	. 東北学院大学志願者の進学意欲向上のための「プレカレッジ」の内容充実(特別重点施策)	67
4	. 英語で議論し新たな価値を創出する魅力を伝えるための、生徒対象の英語研修機会の充実(特別	
	重点施策)	C
5		67
		67
	. 英語外部資格検定受検の機会強化(特別重点施策)	67
6	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68
6 7		67 68 68
6 7 8	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 68
6 7 8 9	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 68 69
6 7 8 9 10	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 68 69 69
6 7 8 9 10	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 68 69 69
6 7 8 9 10 11	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 69 69 69
6 7 8 9 10 11 12	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 69 69 69 70
6 7 8 9 10 11 12 13	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 68 69 69 69 70 70
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	<ul> <li>教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)</li> <li>フィードバックを授業改善に繋げるための授業公開の実施(特別重点施策)</li> <li>授業づくりに関する優れた知見や実践例を学ぶ機会の提供(特別重点施策)</li> <li>教育実践の振り返りのための学外教員との学びの機会の提供(特別重点施策)</li> <li>礼拝通信、礼拝司会者会の連携による毎日の礼拝の充実</li> <li>外部講師による教職員修養会の充実</li> <li>入試情報の適切な収集と生徒・保護者への迅速な提供</li> <li>国際交流プログラムの充実による長期留学、短期留学、短期研修参加生徒の安定的確保</li> <li>海外からの留学生の受け入れ体制の整備</li> <li>教育改革、最新の教育課題等に関する保護者向け講演会の実施</li> </ul>	67 68 68 68 69 69 69 70 70
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 69 69 69 70 70 70
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 69 69 69 70 70 70
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 68 69 69 69 70 70 70 71
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 68 69 69 69 70 70 70 71
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 68 69 69 69 70 70 70 71 71
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	<ul> <li>教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)</li> <li>フィードバックを授業改善に繋げるための授業公開の実施(特別重点施策)</li> <li>授業づくりに関する優れた知見や実践例を学ぶ機会の提供(特別重点施策)</li> <li>教育実践の振り返りのための学外教員との学びの機会の提供(特別重点施策)</li> <li>礼拝通信、礼拝司会者会の連携による毎日の礼拝の充実</li> <li>外部講師による教職員修養会の充実</li> <li>入試情報の適切な収集と生徒・保護者への迅速な提供</li> <li>国際交流プログラムの充実による長期留学、短期留学、短期研修参加生徒の安定的確保</li> <li>海外からの留学生の受け入れ体制の整備</li> <li>教育改革、最新の教育課題等に関する保護者向け講演会の実施</li> <li>生徒・教員の学びの活性化のための定期的な授業公開の実施</li> <li>様々な知見やスキルを獲得するための総合的な学習(探究)時間の強化</li> <li>教科横断の重要性、学習内容と社会課題との繋がりを生徒に理解させるためのカリキュラム・マネジメントの実施</li> <li>提供する情報の量と質を高めた塾訪問の機会の増加</li> <li>オープンスクール・学校説明会の質的向上</li> </ul>	67 68 68 68 69 69 70 70 70 71 71 71 72
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 68 69 69 69 70 70 70 71 71 71 72 72
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	<ul> <li>教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)</li> <li>フィードバックを授業改善に繋げるための授業公開の実施(特別重点施策)</li> <li>授業づくりに関する優れた知見や実践例を学ぶ機会の提供(特別重点施策)</li> <li>教育実践の振り返りのための学外教員との学びの機会の提供(特別重点施策)</li> <li>礼拝通信、礼拝司会者会の連携による毎日の礼拝の充実</li> <li>外部講師による教職員修養会の充実</li> <li>入試情報の適切な収集と生徒・保護者への迅速な提供</li> <li>国際交流プログラムの充実による長期留学、短期留学、短期研修参加生徒の安定的確保</li> <li>海外からの留学生の受け入れ体制の整備</li> <li>教育改革、最新の教育課題等に関する保護者向け講演会の実施</li> <li>生徒・教員の学びの活性化のための定期的な授業公開の実施</li> <li>生徒・教員の学びの活性化のための定期的な授業公開の実施</li> <li>株々な知見やスキルを獲得するための総合的な学習(探究)時間の強化</li> <li>教科横断の重要性、学習内容と社会課題との繋がりを生徒に理解させるためのカリキュラム・マネジメントの実施</li> <li>提供する情報の量と質を高めた塾訪問の機会の増加</li> <li>オープンスクール・学校説明会の質的向上</li> <li>ホームページの情報の質と量の向上</li> <li>専任教員による授業担当時間比率の向上</li> </ul>	67 68 68 68 69 69 69 70 70 71 71 71 72 72
6 7 8 9 100 111 122 133 144 155 166 177 18 20 21 22 23	. 教科内、他教科との協働による授業づくりの実施(特別重点施策)	67 68 68 68 69 69 69 70 70 71 71 71 72 72 72

D	東北学院榴ケ岡高等学校	
202	3年度事業総括	74
1.	探究活動を主体とする課題研究の取組の体系化(特別重点施策)	76
2	ピア・ラーニングの手法による学び合い活動及びピア・チューターによる相談体制の導入(特別	
	重点施策)	78
2	特別進学コースを中心とした放課後の活用による学習支援の充実(特別重点施策)	70
	外部講師を活用したグローバル教育の推進(特別重点施策)	
	第二外国語の授業設定により語学学習に積極的に取り組むTG進学者の育成(特別重点施策) ·········	
6.	英語の資格取得を必須化する英語教育の推進(特別重点施策)	78
7.	高大接続専門委員会を通した東北学院大学との新たな連携事業の強化(特別重点施策)	79
	21世紀型教育研究委員会を中心とした新しい教育方法の積極的導入及び実施(特別重点施策)	
	授業方法の先進事例の情報収集による、主体的・対話的で深い学びに繋がる教育活動の推進(特	
9.	別重点施策)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	00
1.0		
	定期的な授業見学の実施による授業力の向上(特別重点施策)	
	礼拝・総合的な探究の時間・学校行事等を通した建学の精神の理解促進	
	長期休業期間も利用した社会奉仕活動を積極的に取り入れた年間計画の策定	
13.	エコキャップ回収、献血活動の啓発に加えて、地域と協働した新たな生徒会活動の展開	80
14.	即戦力となる他校経験者及び再任用対象者の積極的な採用	81
	中堅教員が主体的に取り組む「学年主体の活動からコース主体の活動への転換」を図る教育活動	
10.	の推進 ····································	21
16	分遣における業務担当の主担当制度を導入した分掌運営 ····································	
		04
17.		
	本校ホームページにおける学校生活の動画配信、TV等のCM、SNSを活用した広報活動 ············	
	各コースが目標とする特色を実現するための3年間通した教育活動のシラバス作成	
20.	スクールバス等の導入も含めた新たな通学手段の確保	83
21.	施設や設備に関する総合的かつ計画的な管理計画の策定	83
22.	新型コロナウイルス等の感染症対策を含む衛生環境の向上	83
	授業改善、業務改善を視点とした授業・校務両面でのシステム・機器等の整備	
2/	2023年度准路宝績	83
24.	2023年度進路実績	83
24.	2023年度進路実績	83
24.	2023年度進路実績	83
24. <b>E</b>	2023年度進路実績 <b></b>	83
24. E 202 1.	2023年度進路実績       東北学院幼稚園         3年度事業総括       3年度事業総括         幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等)       3年度事業総括	83 85 86
24. E 202 1. 2.	2023年度進路実績         東北学院幼稚園         33年度事業総括         幼稚園の将来構想 (子ども・子育て支援新制度への移行等)         建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化 (特別重点施策)	83 85 86 86
24. E 202 1. 2.	2023年度進路実績       東北学院幼稚園         3年度事業総括       3年度事業総括         幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等)       3年度事業総括	83 85 86 86
24. E 202 1. 2. 3.	東北学院幼稚園         3年度事業総括         幼稚園の将来構想 (子ども・子育て支援新制度への移行等)         建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化 (特別重点施策)         建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養 (特別重点施策)	83 85 86 86 87
24. E 202 1. 2. 3. 4.	東北学院幼稚園         3年度事業総括         幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等)         建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策)         建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策)         卒園後も幼稚園を通じて東北学院に繋がる活動計画の策定と実施(特別重点施策)	83 85 86 86 87
24. E 202 1. 2. 3. 4. 5.	2023年度進路実績	83 85 86 86 87 87
24. E 202 1. 2. 3. 4. 5.	2023年度進路実績  東北学院幼稚園  33年度事業総括  幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等) 建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策) 建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策)  卒園後も幼稚園を通じて東北学院に繋がる活動計画の策定と実施(特別重点施策) 計画的な園内研修制度の構築・実施  高齢者及び世代間交流を通じた福祉活動の継続	83 85 86 86 87 87 87
24. E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6.	2023年度進路実績  東北学院幼稚園  3年度事業総括  幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等) 建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策) 建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策) ・・・・ 卒園後も幼稚園を通じて東北学院に繋がる活動計画の策定と実施(特別重点施策) ・・・・ 計画的な園内研修制度の構築・実施  高齢者及び世代間交流を通じた福祉活動の継続  地域における子育て支援の拠点となる活動の実施	83 85 86 86 87 87 87 87
24. E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	2023年度進路実績  東北学院幼稚園  23年度事業総括  幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等) 建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策) 建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	83 85 86 86 87 87 87 87 88
24. E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.	2023年度進路実績  東北学院幼稚園  23年度事業総括  幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等) 建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策) 建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策) ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・・ ・・・・・・・・	83 85 86 87 87 87 87 88 88
24. E 202 1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.	<ul> <li>東北学院幼稚園</li> <li>3年度事業総括</li> <li>幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等)</li> <li>建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策)</li> <li>建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策)</li> <li>卒園後も幼稚園を通じて東北学院に繋がる活動計画の策定と実施(特別重点施策)</li> <li>計画的な園内研修制度の構築・実施</li> <li>高齢者及び世代間交流を通じた福祉活動の継続</li> <li>地域における子育て支援の拠点となる活動の実施</li> <li>異年齢交流を通じ、知的好奇心が触発されることによる知識探求心の育成</li> <li>キリスト教教育を実践するための人員構成の最適化</li> <li>幼稚園の財政状況を踏まえた収支改善方策の策定、実行</li> </ul>	83 85 86 86 87 87 87 87 88 88 88
24. E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11.	<ul> <li>東北学院幼稚園</li> <li>3年度事業総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	83 85 86 86 87 87 87 87 88 88 88
24. E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11.	<ul> <li>東北学院幼稚園</li> <li>3年度事業総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	83 85 86 86 87 87 87 87 88 88 88
24. E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11.	<ul> <li>東北学院幼稚園</li> <li>3年度事業総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	83 85 86 86 87 87 87 87 88 88 88
24. E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	<ul> <li>東北学院幼稚園</li> <li>3年度事業総括</li> <li>幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等)</li> <li>建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策)</li> <li>建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策)</li> <li>卒園後も幼稚園を通じて東北学院に繋がる活動計画の策定と実施(特別重点施策)</li> <li>計画的な園内研修制度の構築・実施</li> <li>高齢者及び世代間交流を通じた福祉活動の継続</li> <li>地域における子育で支援の拠点となる活動の実施</li> <li>異年齢交流を通じ、知的好奇心が触発されることによる知識探求心の育成</li> <li>キリスト教教育を実践するための人員構成の最適化</li> <li>幼稚園の財政状況を踏まえた収支改善方策の策定、実行</li> <li>施設設備計画に基づいた幼稚園の施設修繕計画の策定、実行</li> <li>幼・中・高・大の交流と連携</li> <li>卒園児の進学先</li> </ul>	83 85 86 87 87 87 87 88 88 88 88 88
24. E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	東北学院幼稚園         3年度事業総括       幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等)         建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策)       建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策)         卒園後も幼稚園を通じて東北学院に繋がる活動計画の策定と実施(特別重点施策)       計画的な園内研修制度の構築・実施         高齢者及び世代間交流を通じた福祉活動の継続       地域における子育で支援の拠点となる活動の実施         異年齢交流を通じ、知的好奇心が触発されることによる知識探求心の育成       キリスト教教育を実践するための人員構成の最適化         幼稚園の財政状況を踏まえた収支改善方策の策定、実行施設設備計画に基づいた幼稚園の施設修繕計画の策定、実行         幼・中・高・大の交流と連携       空園児の進学先         園児数確保に資する募集活動の展開	83 85 86 87 87 87 87 88 88 88 88 88 88 88
24. E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	<ul> <li>東北学院幼稚園</li> <li>3年度事業総括</li> <li>幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等)</li> <li>建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策)</li> <li>建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策)</li> <li>卒園後も幼稚園を通じて東北学院に繋がる活動計画の策定と実施(特別重点施策)</li> <li>計画的な園内研修制度の構築・実施</li> <li>高齢者及び世代間交流を通じた福祉活動の継続</li> <li>地域における子育で支援の拠点となる活動の実施</li> <li>異年齢交流を通じ、知的好奇心が触発されることによる知識探求心の育成</li> <li>キリスト教教育を実践するための人員構成の最適化</li> <li>幼稚園の財政状況を踏まえた収支改善方策の策定、実行</li> <li>施設設備計画に基づいた幼稚園の施設修繕計画の策定、実行</li> <li>幼・中・高・大の交流と連携</li> <li>卒園児の進学先</li> </ul>	83 85 86 87 87 87 87 88 88 88 88 88 88 88
24. E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	東北学院幼稚園         3年度事業総括       幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等)         建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策)       建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策)         卒園後も幼稚園を通じて東北学院に繋がる活動計画の策定と実施(特別重点施策)       計画的な園内研修制度の構築・実施         高齢者及び世代間交流を通じた福祉活動の継続       地域における子育で支援の拠点となる活動の実施         異年齢交流を通じ、知的好奇心が触発されることによる知識探求心の育成       キリスト教教育を実践するための人員構成の最適化         幼稚園の財政状況を踏まえた収支改善方策の策定、実行施設設備計画に基づいた幼稚園の施設修繕計画の策定、実行         幼・中・高・大の交流と連携       空園児の進学先         園児数確保に資する募集活動の展開	83 85 86 87 87 87 87 88 88 88 88 88 88 88
24. E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.	東北学院幼稚園         3年度事業総括       幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等)         建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策)       建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策)         卒園後も幼稚園を通じて東北学院に繋がる活動計画の策定と実施(特別重点施策)       計画的な園内研修制度の構築・実施         高齢者及び世代間交流を通じた福祉活動の継続       地域における子育で支援の拠点となる活動の実施         異年齢交流を通じ、知的好奇心が触発されることによる知識探求心の育成       キリスト教教育を実践するための人員構成の最適化         幼稚園の財政状況を踏まえた収支改善方策の策定、実行施設設備計画に基づいた幼稚園の施設修繕計画の策定、実行         幼・中・高・大の交流と連携       空園児の進学先         園児数確保に資する募集活動の展開	83 85 86 87 87 87 87 88 88 88 88 88 88 88
24.  E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.	東北学院幼稚園 3年度事業総括 幼稚園の将来構想(子ども・子育て支援新制度への移行等) 建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策) 建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策) 平園後も幼稚園を通じて東北学院に繋がる活動計画の策定と実施(特別重点施策) 計画的な園内研修制度の構築・実施 高齢者及び世代間交流を通じた福祉活動の継続 地域における子育で支援の拠点となる活動の実施 異年齢交流を通じ、知的好奇心が触発されることによる知識探求心の育成 キリスト教教育を実践するための人員構成の最適化 幼稚園の財政状況を踏まえた収支改善方策の策定、実行 施設設備計画に基づいた幼稚園の施設修繕計画の策定、実行 幼・中・高・大の交流と連携 平国児の進学先 園児数確保に資する募集活動の展開 アンケート評価による自己点検・評価	83 85 86 86 87 87 87 87 88 88 88 88 88 88 89
24.  E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.	東北学院幼稚園 3年度事業総括 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	83 85 86 86 87 87 87 87 88 88 88 88 88 88 89 90
24.  E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.	東北学院幼稚園 3年度事業総括 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	83 85 86 86 87 87 87 87 88 88 88 88 88 88 89 89
24.  E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.	東北学院幼稚園 第年度事業総括 幼稚園の将来構想(子ども・子育で支援新制度への移行等) 建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策) 建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策) ・	83 85 86 86 87 87 87 87 88 88 88 88 88 88 89 89
24.  E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.  III.	東北学院幼稚園 第年度事業総括 幼稚園の将来構想(子ども・子育で支援新制度への移行等) 建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策) 建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策) ・	83 85 86 86 87 87 87 88 88 88 88 88 89 89 90 104 106 113
24.  E 202 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.  III.	東北学院幼稚園 第年度事業総括 幼稚園の将来構想(子ども・子育で支援新制度への移行等) 建学の精神に基づく、礼拝を通した人間的基礎教育の強化(特別重点施策) 建学の精神に基づく遊び・体験教育を通し、知識・技能の習得と主体性の涵養(特別重点施策) ・	83 85 86 86 87 87 87 87 88 88 88 88 88 89 89 104 106 113 116

# 理事長挨拶



学校法人東北学院 理事長 **原田 善教** 

ここに『2023年度学校法人東北学院事業報告書』を公表することになりました。2023年度で、新型コロナウイルス感染症が感染症法上5月8日から5類感染症に位置づけられたことから、社会生活がほぼコロナ禍前の状況に復帰することになりました。各設置学校はインフルエンザも含めて感染症対策に慎重な対応を心がけ、業務を円滑に遂行することができました。着実に業務に当たった教職員の皆さんに感謝いたします。

2024年1月1日には能登半島地震が発災し、深刻な被害をもたらしました。2011年3月11日東日本大震災の被災地に所在する学校として、被災地の皆さまの一刻も早い心身の平穏と早急なる復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は沈静化し社会に平穏が戻りつつありますが、2022年2月からのロシアのウクライナ侵攻は依然として収束の兆しを見せず、さらに、2023年10月からのイスラエルのガザ地区侵攻は人道危機を引き起こし、一層、世界を不安定に陥れています。また、例年のごとく異常気象と言われる自然環境の変化は著しく、「地球の再野生化」が強まっています。地球市民としていかに環境適応していくかが問われています。予測不能な時代にあって、キリスト教学校たる東北学院として、「地には平和を」と、早期の平和の実現と安定的な世界の到来を強く祈ります。

国内に目を転ずれば、少子化の進行は著しく、2022年の合計特殊出生率は1.26、出生数は77万人と過去最低水準となりました。2023年度私学事業団『私立大学等の入学志願者動向』によれば、大学全体に占める定員割れ校の割合は53.3%となりました。2023年には、いくつかの私立大学が募集停止を発表したことは記憶に新しいことと思います。いくつかの地方私立大学は公立化への転換に舵を切っています。少子化についての、ある推計によれば、いまから18年後の2041年の大学進学率を男女とも60%、18歳人口が75万人とすると、大学進学者数は45万人となり、2022年度の大学進学者数は64万人ですから、19万人減少することになります。入学定員500人の私立大学の380校分ですから、単純計算すると2023年の590校から380校引くと、210校しか生き残れないことになります。非常に厳しい予測です。少子化とともに社会状況は厳しくなっていることは確かです。まさに私立学校淘汰の時代が急速に進んでいます。一方、文部科学省は、2023年9月に中央教育審議会に「急速な少子化が進行する中での将来社会を見

据えた高等教育の在り方について」諮問を行い、私立大学の再編・統合に向けた方針を明確に示しました。私立学校はまさにいま危機の時代にあり、その存続可能性が問われています。

こうした先の見通せない時代において、東北学院はその基盤として建学の精神とスクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」を持ち、それを道標として前に進んでいます。東北学院中長期計画 TG Grand Vison 150 は、まさに「社会から選ばれる学校」としての東北学院を実現するための「導きの糸」にほかなりません。中長期計画 TG Grand Vision 150の目標、つまり創立150周年を迎えたときの東北学院の姿は、東北・北海道地区で「比類なき私立学校」となっていることです。今後少子化が進行し多くの私立学校で経営危機が頻発しようとも、東北学院は、一定の高いレベルを維持し、「社会から選ばれる学校」として、「行くに値する学校」として地域社会において輝き続ける存在でなければなりません。近い将来、少子化の中で一定のレベルを維持し続けるためには、収容定員の削減も必要になるでしょう。そうした状況にあっても、「比類なき学校」になっていれば経営の安定を強固に維持し続けることができると確信しています。東北学院の未来を創るのは、いまを生きる私たちです。

そこに向かう2022年度から始まる中学校・高等学校の共学化を伴う学校改革、幼稚園の子ども・子育て支援新制度に基づく施設型給付幼稚園への転換、そして2023年度には榴ケ岡高等学校における進学重視型単位制の導入といった教学改革、さらに大学五橋キャンパスの供用開始と新学部の開設は、東北学院が大きく変わりつつあることを社会にアピールすることになりました。ベガルタ仙台との包括連携協定の締結もその一環です。その意味で、高等学校の2022年夏の甲子園大会初出場・初勝利は変わる東北学院へのエール、華々しい号砲だったように思われます。したがって、いまが東北学院の新たな第2世紀の始まりと捉えるべきであると言えましょう。

ここで本院の2023年度の歩みを概略的に振り返っておきましょう。

法人では、第一に、念願の大学五橋キャンパスが開学しました。4月1日に五橋キャンパス押川記念館押川記念ホールで開学式を開催し、文部科学省高等教育局長、東北大学総長から祝辞をいただきました。2022年10月1日の献堂式に続き、この7年間、本院が遂行してきた一大事業、大学キャンパス整備事業に一区切りつけることができました。関係したすべての方々に感謝したいと思います。

五橋キャンパス押川記念館押川記念ホールは1,000人収容のホールです。このホールのこけら落としコンサートを仙台フィルハーモニー管弦楽団と大学オルガニスト今井奈緒子教授との共演で5月に開催しました。このホールのオルガンは泉キャンパス礼拝堂に設置していたオルガンを移設したものです。売却する多賀城キャンパスの礼拝堂のオルガンは泉キャンパス礼拝堂に移設しました。オルガン移設に賛同してご寄付頂いた多くの方々に感謝いたします。

開学を記念して本学 OB でもある原秀一東北福祉大学名誉教授から8枚の絵画を寄贈頂きました。 シュネーダー記念館、押川記念館、講義棟にそれぞれ飾っています。キャンパス見学の際にはどこにあ るか探してみて下さい。絵画と音楽が奏でる芸術感あるキャンパスとして楽しんで頂ければと思います。

また、五橋キャンパス押川記念館1階には友愛(YOU & I)ショップを開設しました。ここでは、 聖書を含むキリスト教関係書籍やTG記念グッズ(ネクタイ、スカーフ、ペン、ドリップパックコーヒー など)を販売しています。教職員、学生はもとより同窓生や市民の活用を期待しているところです。

さらに、五橋キャンパスは土樋キャンパスと一体的に「一つのキャンパス」として運用しています。 両キャンパスの一体的運用に不可欠であった土樋・五橋の通行路が、五橋キャンパスの開学から半年ほ ど遅れましたが、完成し、利便性が高まりました。両キャンパスをすべての学生が利用し文理融合教育 の拠点となることを期待しています。 第二に、東北学院ブランドデザインプロジェクトにおいてインナーブランディングの促進に注力しています。2022年に策定した新たなブランドマークを示す襟章、クレドカード、名刺を新たに作成しました。これらのものには、スクールモットー LIFE LIGHT LOVE を明記することによって、本院のIDENTITY の教職員、学生、地域社会への浸透に努めています。さらに、五橋キャンパス開学記念として教職員には新ブランドマークを記したネクタイやスカーフを配布し、一層の TG IDENTITY の確立に向けて歩みを進めています。

TG IDENTITY の確立とは、建学の精神に絶えず立ち戻りながらこの学校のあり様を考え続けることを意味しています。つまり、建学の精神を確認し、自分ごととして絶えず更新していくことにほかなりません。その意味で、「建学の精神が組織の原動力」となるには、「キリスト教学校は制度によって社会的正当性を獲得した後も、日々の主体的活動によって生まれ変わり続けなくてはならない、キリスト教学校であることはキリスト教学校がすることによって達成される結果なのだ、だから、制度としてのキリスト教学校は運動としてのキリスト教学校として更新され続けるべき」(伊藤彰浩「『建学の精神』は組織の原動力なのか。キリスト教学校は永遠のものなのか。」、キリスト教学校教育同盟『キリスト教学校教育』769号、2023年12月15日)なのです。こうしたことを強く意識することこそがキリスト教学校としての東北学院のTG IDENTITYの確立に向けて進むべき道筋にほかなりません。このために、まずは教職員研修、管理職研修などにおいてキリスト教学校で働くとことの意味やそこで働く者のすること、振る舞いについて学ぶ研修の機会を設けることが大切であると考えています。

第三に、各設置学校での学校礼拝も通常通り対面で完全実施するようになりました。宗教センター主催による設置学校各校で恒例のクリスマスイルミネーション点灯式を行うことができました。また、第1回五橋クリスマスが開催され、多くの学生、教職員、市民が参加し、五橋キャンパスの記念樹がクリスマスイルミネーションで輝きました。今後、恒例行事となっていくでしょう。さらに、2023年度も大学五橋キャンパス・シュネーダー記念館の愛宕大橋側の窓をクリスマスツリーに形作り点灯させ、河北新報に掲載されるなど、仙台市民に「クリスマスは東北学院」という印象を強くアピールすることができました。どうやら毎年の風物詩になりそうです。

宗教センター主催の水曜礼拝も市民に開放して着実に毎月実施することができました。その中核としてお働き頂いた鐸木道剛元理事長特別補佐・元文学部総合人文学科教授が2024年2月に天に召されました。心より哀悼の意を表します。

第四に、五橋キャンパス移転後の泉キャンパスのその後のあり様については、大学キャンパス整備推進本部会議において施設部長をリーダーとするワーキンググループを組織し、その利活用方法について検討してきました。その検討結果に基づき、二つのことに取り組むことにしました。一つは、本院はベガルタ仙台と包括連携協定を締結し、教育事業として泉キャンパスラグビー場、サッカー場をベガルタ仙台に貸し出す、その際ベガルタ仙台は両グランドを天然芝、人工芝にして本院学生、生徒と共用し、ベガルタ仙台の持つスポーツスキルや運営ノウハウなどのリソースを活用して、学生、生徒の資質向上に資する、そして地域社会との関係性を高め、WIN-WIN-WIN(triple-WIN)となることを目指すことにしました。協定締結についてはメディアに取り上げられ、ニュースになりました。もう一つは、施設が老朽化していた東北学院榴ケ岡高等学校を、泉キャンパス2号館を改修し、そこに移転して、2025年度に供用開始とすることにしました。1号館、礼拝堂については大学と共用します。進学重視型単位制という新しい教学上の仕組みを導入していた榴ケ岡高等学校にとっては、使い勝手のよい施設への移転は教育の質向上に大いに役立つとともに、受験生の獲得に大きな効果を持つことが期待されます。

第五に、本院の経営方針や施策等を明示し積極的にステークホルダーに対する説明責任を果たすために策定したガバナンス・コードについては、2023年10月に一部改訂し、その遵守状況を検証しました。その結果、引き続きすべての項目で100%達成できていることから、本院はコンプライアンスに基づいて着実に業務を遂行しているということを明確に示すことができました。この点はホームページに公開しています。

第六に、大学キャンパス整備計画は、第Ⅲ期計画として土樋キャンパス再整備計画を策定しており、2023年度は土樋キャンパス西側の商品学実習室等の解体撤去と整地を行いました。2024年度には2、3、4号館の解体撤去及び整地が予定されています。

第七に、中等教育部門については、6年前から法人役員が現状把握と将来構想を検討する場として設置学校将来構想検討会議を毎年それぞれ2回、計4回開催しています。法人役員が各設置学校(高等学校)を訪問し授業参観を通じて意見交換し、各校の課題を共有しその改善に向けて協議を重ね将来を構想する、よい機会となっています。2023年度から多くの授業を見るのではなく、一つの授業をじっくりと参観しその後に担当教員と意見交換することにし、授業の質向上に貢献しています。

最後に、懸案となっている DX 化については未だ進捗していません。 DX 化とは、デジタル(ICT) 化とともに業務見直し・効率化を進めることですので、生成 AI の活用も含めて大胆な取り組みが求められています。電子決裁を始めとして、一層の業務改善・効率化に取り組んでいかなければなりません。 大学では、五橋キャンパスの開学とともに開設した新学部が順調にスタートしました。コロナ禍を抜け、通常の学生生活を取り戻した結果、キャンパスにたくさんの学生を見ることができるようになり、これこそが大学の日常であることを実感しました。その反面、様々な場面での混雑も課題として明らかとなり、解決に向けて取り組んでいます。

2023年度は大学基準協会の認証評価を受審する前年にあたり、点検・評価の年でした。各学部、研究科、部局等の自己点検・評価結果を点検・評価委員会が全学的な観点で『点検・評価報告書』として取り纏め、改善点については内部質保証委員会での審議を経て学長からの改善勧告を発出し、各部門で改善を進めています。こうした点検・評価活動の一環として第三者の視点から、外部評価委員会、教学に関する懇話会、西南学院大学との相互評価を開催・実施しています。これらの活動がPDCAサイクルを着実に機能させ、アセスメント・プランに基づく教育の質向上へと導き教育の内部質保証を担保するものとなっています。これらの結果についてはすべて大学のホームページに公開されています。

教育 DX の面では、教学マネジメント体制を確立させるために、e-Portfolio を TG-folio として全学年に導入し本格的な運用を始めました。未だその運用体制には課題があるものの、教育の質向上に向けて引き続き取り組みを進めることにしています。なお、生成 AI の利活用についてはその指針(ガイドライン)を教職員、学生に向けて学長から発信しています。

文部科学省の補助事業「私立大学等改革総合支援事業」については、2023年度も教学改革の取り組みであるタイプ I(「Society 5.0」の実現に向けた特色ある教育の展開)では採択されず、地域連携についてのタイプ II(「地域社会への貢献」地域連携型)だけしか獲得できませんでした。残念ですが、採択に向けた一層の努力が求められます。また、補助事業に採択された「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業」では、大学院経済学研究科に経済データサイエンス専攻を新たに設置する計画を策定し、文部科学省に設置申請しています。

学業支援では新設された学務部学修支援課が機能を始めました。土樋キャンパス・ホーイ記念館1階と2階のラーニング・コモンズに加えて、五橋キャンパス・シュネーダー記念館2階から5階に2023年

度から開設されたコラトリエ・ライブラリーでも、レポートの書き方など学生の学びの支援に注力しています。また、休退学者対策が急務との認識の下、対策委員会を設置してその対応策を規程化し機能させることで、できる限り休退学者を減らす取り組みを始めました。今後の成果が期待されるところです。

学生支援では、経済的支援とともに学生の健康面での生活支援にも注意を払い、五橋キャンパスでは TG ランチの提供を12月から1月まで期間限定で行いました。また、専用寮の運営を外部業者と提携して始めました。遠隔地からの学生120名分の居室を用意し、月額2万円、24ヶ月の補助をしています。なお、これとは別に留学生向けの家賃補助制度も実施しています。

就職支援も充実させ、公務員採用数、警察官採用数、教員採用数は前年度を上回り、就職率も上昇しています。障がいのある学生の社会移行支援についても、東京大学 PHED や京都大学 HEAP と連携を強化し、講演会の実施や連携事業の推進など、障がいのある学生の支援に積極的に取り組んでいます。

学生募集については、東日本地域別スカラシップ選抜を新たにスタートさせ、東北、北関東、新潟、 北海道地区を対象に優秀な学生の獲得に注力しています。

中学校・高等学校では、男子校最後の卒業式を3月に実施できました。

中学校・高等学校は、「未来学力」をキーワードとする「共学化」を伴う学校改革を着実に進めています。共学化の面で、教職員・生徒がともに多様性についての理解を深めるために、ジェンダーギャップについての講演会を実施しました。「未来学力」を伸ばす学習スタイルを創出するために、まずは教員が授業の中に「未来学力」をいかに落とし込むかについて考える研修を行いました。その上で教科別にその手法について検討を重ねています。こうした取り組みは、「未来学力」のルーブリックに基づきその内実を一層ゆたかなものにしていくことになると思います。もちろん、教員の教科指導力の向上のための研修会や授業公開も実施しています。

中高大連携事業としてのプレカレッジや3L 希望学も一層内容の充実を図って生徒の学びを深めています。これらは、大学での学びに期待を抱かせるとともに進学意欲を向上させるものとなっています。 榴ケ岡高等学校に刺激されて、東北学院大学推薦資格として英検準2級の取得を義務づけました。

国際交流事業にも力を入れていますが、今年度は英語研修機会を充実させて英語を身近に感じさせるとともに、英語外部資格検定受検の機会も充実させたことで、高校2年生時にすべての生徒が英検準2級を取得することを目標にすることができました。

課外活動では、女子の活躍も含めて多くの部が全国大会に出場を果たしました。とりわけ、空手部やサッカー部の活躍に目を見張るものがありました。

以上のように、未来学力をキーワードとする学校改革によって、生徒主体の学校運営が大きく進み、中学校・高等学校に対する社会的評価が高まっています。その結果、人気は高まったものの難関校と言われるようにもなり、受験者はやや減少しました。しかし、過去そうであったように、レベルの高い生徒を集めることができるようになっています。

榴ケ岡高等学校は、コース制の特色を活かしつつ導入した「進学重視型単位制」の定着を図り、一層の教育内容の改革を進めています。特に、課題探求の授業を強化しています。STEM 教育や、高大連携事業として大学教員の協力の下、プレカレッジやグローバル教育など様々な取り組みを行っています。英語力強化のために英検の資格取得を進め、TG 推薦出願のほぼ全員が英検準2級を取得しています。さらに、第二外国語として中国語、ドイツ語、フランス語を開設し、グローバル社会で生き抜く力を涵養しています。

教員の教科指導力の向上のために、研修会や公開授業を実施し、授業の中に「探究」活動を取り入れた授業の進め方について充実した研修が行われました。全教員参加型の授業参観や保護者向けの授業参観も実施し、授業実践力の向上に繋げています。

榴ケ岡高等学校は2025年4月から大学泉キャンパス2号館を校舎として活用することが2023年度第8回理事会で決定されました。1号館と礼拝堂は大学と共有ですが、新しい施設を大いに利活用し、「進学重視型単位制」を充実させることが可能となりました。

幼稚園については、子ども・子育て支援新制度に基づく施設型給付幼稚園の体制のもとで、建学の精神を堅持して充実した幼児教育を展開し、キリスト教教育は幼児教育でこそ十全に行われるとの認識を持ち、そのプレゼンスを高めています。少子化の影響を最も早く受けるのが幼稚園です。園児募集の厳しさは年々高まっています。満3歳児を受け入れるなど定員充足に力を入れています。地域社会との連携活動や高齢者施設との交流、中高大連携の下での英語学習、大学キャンパス訪問やクリスマスコンサートなど様々な取り組みを行って、園児の成長を促しています。

法人全体の財政については、大学五橋キャンパス関連の支出が一段落したこともあり、中期財政フレームに従い概ね順調に推移しています。今後は大学土樋キャンパス再整備計画や榴ケ岡高等学校移転計画などの実現に向けて着実な財政運営を進めていくことになります。

以上のように、2023年度の本院の歩みは TG Grand Vision 150 第 II 期中期計画に沿って着実に進んだと言えるでしょう。それぞれの置かれた場所で努力された教職員の皆さんに感謝したいと思います。まだまだ課題が山積し、その解決のための財政上の制約は大きいものがあります。しかし、変革を怠れば停滞が、そしてその後衰退が待っています。現状に安住すれば滅亡の危機が迫ります。リスクを恐れず積極果敢に挑戦していかなければなりません。2036年東北学院創立150周年のときに地域社会に多くの有為な人材を輩出する「比類なき学校」としてゆるぎなく存立していることを確信に変えるために、建学の精神に立脚し、継続性・法令遵守・説明責任という3つの経営理念を堅持しつつ、経済合理性に基づく学校法人運営を心がけ、改革を断行していく所存です。それには、本院のスクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」に支えられた教職員の心が、神の導きによって一つになることが前提です。そうした教職員の主体的・積極的な協力・貢献によって、本院の拠って立つ基盤である建学の精神に絶えず立ち返りながら、本院の進むべき方向を見誤らないように力強く歩んでまいります。

# I. 法人の概要

#### 1. 基本情報

法 人 名 学校法人東北学院

住 所 〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

電話/FAX番号 022-264-6464/022-264-6458 (代表)

ホームページURL https://www.tohoku-gakuin.jp/



# 2. 東北学院建学の精神、スクールモットー [LIFE LIGHT LOVE]、東北学院教育 の基本方針及び学校法人東北学院の経営理念

#### <東北学院建学の精神>

東北学院の三校祖、押川方義、W·E·ホーイ、D·B·シュネーダーは、東北学院の建学の精神を、宗教改革の「福音主義キリスト教」の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育にあるとした。

その教育は、聖書の示す神に対する畏敬の念とイエス・キリストにならう隣人への愛の精神を培い、文化の発展と福祉に貢献する人材の育成を目指すものである。

#### <スクールモットー [LIFE LIGHT LOVE] >

東北学院の「建学の精神」を象徴するスクールモットー、「LIFE LIGHT LOVE」とは、イエス・キリストの「命(いのち)」・「光(ひかり)」・「愛(あい)」を指す。キリストの命が私たちに与えられ、キリストの光が私たちを照らし、キリストの愛が私たちを包んでいる。それゆえ私たちもまた人々の命のために仕え、人々に光を与えるために働き、人々を自分のように愛するのである。これは聖書を根拠にした本院に関係するすべての人々に対する教えであり、本院の創設時から大切にされてきた言葉である。

LIFE (いのち)とは、有限な生命体の命と、神が自らの似姿として創造された個人の尊厳を互いに大切にすることである。

LIGHT(ひかり)とは、学問や科学の成果によって新しい時代を切り開くことである。

LOVE(あい)とは、隣人愛をもって地域や世界に仕えることである。

#### <東北学院教育の基本方針>

東北学院は創立以来、本法人に所属する各教育機関において一般の教育・研究活動と共に福音主義 キリスト教に基づく宗教教育を一貫して行ってきた。

今後ともそれぞれの教育機関は、正規の学校行事としての礼拝と正課必修としてのキリスト教教育を不変のこととして実施していくものとする。

#### <学校法人東北学院の経営理念>

学校法人東北学院は、建学の精神の堅持を根本理念とし、次の三つの基本方針により教育事業の経営にあたる。

- 1. 教育事業を安定的に持続させる経営
- 2. 社会的に適切と評価される経営
- 3. 社会に対して説明責任をはたす経営

### 3. 設置する学校・学部・学科等

2024年3月31日現在

設置する学校	開校年月日	学节	ボ・学科等
東北学院大学	1949年 4 月	大学院 文学研究	
		経済学研	
		経営学研	开究科
		法学研究	5科
		工学研究	5科
		人間情幸	最学研究科
		文学部 英文学科	4
		総合人力	文学科
		歴史学科	4
		教育学科	4
		経済学部 経済学科	¥
		共生社会	会経済学科 (募集停止)
		経営学部 経営学科	斗
		法学部 法律学科	4
		工学部 機械知能	<b></b>
		電気電子	子工学科
		環境建設	<b></b>
		情報基盤	2008年
		地域総合学部地域コミ	ミュニティ学科
		政策デサ	デイン学科 アイン学科
		情報学部 データナ	ナイエンス学科
		人間科学部 心理行動	协科学科
		国際学部 国際教養	<b></b>
		教養学部 人間科学	学科 (募集停止)
		言語文化	<b>と学科(募集停止)</b>
		情報科学	学科 (募集停止)
		地域構想	思学科(募集停止)
東北学院高等学校	1948年 4 月	全日制課程 普通科	¥
東北学院榴ケ岡高等学校	1972年 4 月	全日制課程 普通科	斗
東北学院中学校	1947年 4 月		
東北学院幼稚園	1962年 4 月		

# 4. 沿 革

1886年 5 月	仙台神学校開校
1891年9月	東北学院と改称
	予科、本科、神学部を設置
1895年	普通科、文科専修部、理科専修部に改組
1904年 3 月	普通科、専門科(文学部、神学部)に改組
1905年 6 月	専門科を専門部(文科、神学科)に改称
1908年5月	
1915年	普通科を中学部と改称
1918年	専門部を神学科1科、同2科、文科、師範科、商科の5科に改組
1925年8月	神学部(1科、2科)、専門部(文科、師範科、商科)の2部5科に改組
1929年8月	社団法人東北学院を財団法人東北学院に改組
9月	専門部を高等学部と改称
1936年 3 月	文科、師範科を文科第一部、同第二部と改称
1937年3月	神学部を東京日本神学校に合併
1943年 4 月	高等学部商科を高等商業部、中学部を東北学院中学校と改称
1944年 4 月	航空工業専門学校設置
1945年12月	航空工業専門学校を工業専門学校と改称
1947年4月	新制東北学院中学校設置
	工業専門学校廃止
1948年 4 月	新制東北学院高等学校並びに同第二部(定時制課程)設置
1949年 4 月	学制改革に伴い東北学院大学文経学部英文学科、同経済学科設置(設置認可)
1950年4月	東北学院短期大学部(2年制)併置。英文科、経済科を置く
1951年2月	財団法人東北学院を学校法人東北学院に改組
1952年4月	短期大学部法科増設
1959年4月	東北学院短期大学部の入学募集停止
	東北学院大学文経学部第二部設置(認可申請)
	東北学院高等学校榴ケ岡校舎設置
1960年3月	東北学院短期大学部廃止
1962年4月	東北学院大学工学部設置(機械工学科、電気工学科、応用物理学科)(認可申請)
	東北学院幼稚園設置(認可申請)
1964年4月	東北学院大学文経学部一部、同二部を文学部一部、同二部並びに経済学部一部、同
	二部に改組(認可申請)
	東北学院大学大学院設置(文学研究科修士課程英語英文学専攻)(認可申請)
1965年 4 月	東北学院大学法学部設置(認可申請)
	東北学院大学大学院経済学研究科修士課程設置(財政金融学専攻)(認可申請)
1966年 4 月	東北学院大学大学院文学研究科博士課程設置(英語英文学専攻)(認可申請)
	東北学院大学大学院工学研究科修士課程設置(応用物理学専攻)(認可申請)
1967年4月	東北学院大学工学部土木工学科増設(届出)
	東北学院大学大学院経済学研究科財政金融学専攻を経済学専攻に改組(認可申請)
1968年4月	東北学院大学大学院経済学研究科博士課程(経済学専攻)、工学研究科博士課程(応

- 用物理学専攻) 設置(認可申請)
- 1969年3月 東北学院大学文経学部・同第二部廃止
- 1971年4月 東北学院大学大学院工学研究科修士課程に機械工学専攻、電気工学専攻増設(認可申請)
- 1972年4月 東北学院榴ケ岡高等学校設置(認可申請)
- 1974年4月 東北学院大学大学院工学研究科博士課程に機械工学専攻、電気工学専攻増設(認可申請)
- 1975年4月 東北学院大学大学院法学研究科修士課程設置(法律学専攻)(認可申請)
- 1979年4月 東北学院大学大学院法学研究科博士課程設置(法律学専攻)(認可申請)
- 1987年3月 東北学院高等学校第二部(定時制課程)廃止
- 1989年4月 東北学院大学教養学部設置(教養学科-人間科学・言語科学・情報科学専攻)(認可申請)
- 1990年4月 東北学院大学大学院工学研究科土木工学専攻(修士課程)設置(認可申請)
- 1992年4月 東北学院大学大学院工学研究科土木工学専攻(博士課程)設置(認可申請)
- 1994年4月 東北学院大学大学院人間情報学研究科人間情報学専攻(修士課程)設置(認可申請)
- 1995年4月 東北学院榴ケ岡高等学校男女共学制に移行
- 1996年4月 東北学院大学大学院人間情報学研究科人間情報学専攻博士課程(後期)設置(認可申請)

東北学院高等学校収容定員に係る学則変更認可(入学定員300名→360名)

東北学院榴ケ岡高等学校収容定員に係る学則変更認可(入学定員180名→270名)

- 1997年4月 東北学院大学大学院文学研究科アジア文化史専攻(修士課程)・ヨーロッパ文化史 専攻(修士課程)設置(認可申請)
- 1999年4月 東北学院大学大学院文学研究科アジア文化史専攻博士課程(後期)・ヨーロッパ文 化史専攻博士課程(後期)設置(認可申請) 東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更認可(編入学定員設置)
- 2000年4月 東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更認可(文学部一部英文学科昼間主コース・夜間主コース、経済学部一部経済学科昼間主コース・夜間主コース、同商学科 昼間主コース・夜間主コース増設、文学部二部英文学科・経済学部二部経済学科学 生募集停止)〔ただし文学部一部英文学科夜間主コース、経済学部一部経済学科夜 間主コース及び商学科夜間主コースの編入学定員(3年次)の受入れは2002年4月 1日〕

東北学院大学の期間を付した入学定員の設定に係る学則変更認可(臨時的定員の増加:経済学部一部経済学科昼間主コース、同商学科昼間主コース、法学部法律学科) 東北学院大学文学部一部を文学部に、経済学部一部を経済学部に名称変更(届出)

- 2001年4月 東北学院大学の学部の学科名称変更(基督教学科をキリスト教学科に、商学科を経 営学科に、教養学科言語科学専攻を教養学科言語文化専攻に変更)(届出)
- 2002年4月 東北学院大学大学院に経済学研究科経営学専攻(修士課程)設置(認可申請)、東北学院大学の学部の学科名称変更(工学部機械工学科を機械創成工学科に、電気工学科を電気情報工学科に、応用物理学科を物理情報工学科に、土木工学科を環境土木工学科に変更)
- 2004年4月 東北学院大学大学院法務研究科法実務専攻(専門職学位課程)設置(認可申請)、 東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更(臨時的定員の恒常的定員化)

- 2005年3月 東北学院大学文学部二部英文学科廃止(届出)(※)
- 2005年4月 東北学院大学文学部史学科を募集停止し、歴史学科を設置(届出) 東北学院大学教養学部教養学科を人間科学科、言語文化学科、情報科学科、地域構 想学科の4学科に改組(届出)
- 2006年4月 東北学院大学工学部機械創成工学科、物理情報工学科、環境土木工学科を募集停止 し、機械知能工学科、電子工学科、環境建設工学科を設置(届出)
- 2007年4月 東北学院大学経済学部二部経済学科廃止(届出)(※)
- 2009年4月 東北学院大学経済学部を改組し、経済学部経営学科を経営学部経営学科とし、経済 学部にはこれまでの経済学科に加え、共生社会経済学科を設置(届出) 東北学院大学大学院経済学研究科を改組し、経済学研究科経済学専攻(博士課程) と経営学研究科経営学専攻(修士課程)を設置(届出)
- 2010年4月 東北学院大学大学院工学研究科を改組し、電子工学専攻(修士課程)を設置(届出) 東北学院大学大学院工学研究科土木工学専攻を環境建設工学専攻に名称変更(届出)
- 2011年4月 東北学院大学文学部キリスト教学科を総合人文学科に改組(届出)
- 2012年4月 東北学院大学大学院工学研究科電子工学専攻博士課程(後期)を設置(届出) 東北学院大学工学部機械創成工学科、物理情報工学科、環境土木工学科、教養学部 教養学科、大学院工学研究科応用物理学専攻及び大学院経済学研究科経営学専攻廃 止(届出)(※)
- 2014年4月 東北学院大学文学部史学科廃止(届出)(※)
- 2016年4月 東北学院大学文学部キリスト教学科廃止(届出)(※) 東北学院大学大学院法務研究科廃止(届出)(※)
- 2017年4月 東北学院大学工学部電気情報工学科・電子工学科を改組し、電気電子工学科・情報 基盤工学科を設置(届出) 東北学院大学経済学部経営学科廃止(届出)(※)
- 2018年4月 東北学院大学文学部教育学科を設置(認可申請) 東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更認可(文学部英文学科・総合人文学 科・歴史学科、経済学部経済学科・共生社会経済学科、経営学部経営学科、法学部 法律学科、教養学部人間科学科・言語文化学科・情報科学科・地域構想学科)
- 2023年4月 東北学院大学地域総合学部地域コミュニティ学科・政策デザイン学科、情報学部 データサイエンス学科、人間科学部心理行動科学科、国際学部国際教養学科を設置 (届出)

東北学院大学工学部電子工学科、電気情報工学科廃止(届出)(※)

※印は、学則変更届出書の「廃止の時期」を記しており、学則の附則に記載の廃止日とは異なる

# 5. 役員等の一覧

# (1) 役員(定員数 理事22人、監事3人)

2024年3月31日現在

							20	124半3万	OI II SULL
		氏		名	就任年月日	勤務	形態	役員賠償責任 保険締結者	責任限定 契約締結者
理 事	長	原	田善	教	2020年4月1日	常	勤	0	
理 (院	事 長)	大	西晴	樹	2020年4月1日	常	勤	0	
理 (学	事 長)	大	西晴	樹	2019年4月1日	常	勤	0	
常任理事(統	総務担当)	हिन्	部 重	樹	2020年4月1日	常	勤	0	
常任理事(則	<b>才</b> 務担当)	鈴	木	勇	2020年4月1日	常	勤	0	
常任理事(人	(事担当)	髙	木 龍	一郎	2018年4月1日	常	勤	0	
理 (副学長[総	事 務担当])	千	葉智	則	2023年4月1日	常	勤	0	
理 (副学長[学	事 務担当])	村野	·井	仁	2021年4月1日	常	勤	0	
理 (副学長[点検・	事 評価担当])	中	沢正	利	2020年4月1日	常	勤	0	
理(高等学	事 校 長)	帆	足直	治	2023年4月1日	常	勤	0	
理 (榴ケ岡高等	事 学校長)	河	本 和	文	2021年4月1日	常	勤	0	
理 (法人事系	事	齋	藤信	=	2020年4月1日	常	勤	0	
理	事	中日本建設コン中	サルタン! 西 利		2015年4月1日	非常	常勤	0	0
理	事	仙台市副市長 高	橋 新	悦	2021年4月1日	非常	常勤	0	0
理	事	仙台広瀬河畔教 望	会主任担任	E教師 修	2005年4月1日	非常	常勤	0	0
理	事	弁護士法人希望 森	上 弁護士 山	博	2011年4月1日	非常	常勤	0	0
理	事	熊谷建設コンサ 熊			2023年4月1日	非常	常勤	0	0
理	事	仙台東一番丁教 <b>瀬</b>	会主任担任	<sup>E教師</sup>	2019年4月1日	非常	常勤	0	0
理	事	(株)河北新報社代 —	表取締役権力 雅		2004年4月1日	非常	常勤	0	0
理	事	三島法律事務所真	弁護士 目	行	2019年4月1日	非常	常勤	0	0
理	事	(株)ユアテック 相 佐	i談役 竹	勤	2022年4月1日	非常	常勤	0	0
理	事	本院史資料セン日	ター客員の <b>野</b>	研究員 哲	2016年4月1日	非常	常勤	0	0
監	事	佐	藤義	幸	2020年4月1日	常	勤	0	0
監	事		<sup>士事務所</sup>	☆認会計士·税理士	2017年11月1日	非常	常勤	0	0
監	事	㈱仙台銀行代表 <b>斎</b>	取締役専利 藤 義		2018年4月1日	非常	常勤	0	0

#### 役員賠償責任保険について

2020年4月1日付けで施行された改正私立学校法により、役員の職務及び責任の明確化等に関する規定が整備されたことに伴い、本院では役員賠償責任保険契約を締結している。契約内容は次のとおりである。

保険の名称:会社役員賠償責任保険 D&O保険(東京海上日動火災保険株)

役員としての業務の遂行に起因して、保険期間中に損害賠償がなされたことに よって被る損害を、保険期間中の総支払限度額の範囲内で支払う保険。

保険期間:2023年5月1日午後4時から2024年5月1日午後4時まで

支払限度額:10億円

#### 責任限定契約について

非業務執行理事及び監事に対しては、責任限定契約を締結している。その根拠は次のとおり、学校 法人東北学院寄附行為第47条に規定されている。

学校法人東北学院寄附行為(抜粋)

(責任限定契約)

第47条 理事(理事長、常任理事、業務を執行したその他の理事又はこの法人の職員でないものに限る。)又は監事(以下この条において「非業務執行理事等」という。)が任務を怠ったことによって生じた損害についてこの法人に対し賠償する責任は、当該非業務執行理事等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、金240万円以上であらかじめ定めた額と私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律で定める額とのいずれか高い額を限度とする旨の契約を非業務執行理事等と締結することができる。

## (2) 評議員 (定員数46人)

## 2024年3月31日現在

	氏	名	就任年月日
院長	大 西	晴 樹	2020年4月1日
学 部 長	紺 野	祐	2021年4月1日
"	佐藤	康 仁	2021年4月1日
"	根市	一志	2021年4月1日
"	伊鹿倉	正 司	2023年4月1日
"	岩谷	幸雄	2020年4月1日
"	塚本	信也	2022年4月1日
宗教部長	原田	浩 司	2022年4月1日
総務部長	渡邊	義 春	2023年6月1日
総務課長	Η П	修	2021年6月1日
中学校·高等 学校副校長	岩 上	敦 郎	2008年6月1日
中学校·高等 学校副校長	和田	知 久	2023年4月1日
榴ケ岡高等 学校副校長	佐藤	周	2021年4月1日
幼稚園長	島内	久美子	2020年4月1日
庶務部長	齋藤	吉 重	2020年4月1日
財務部長	水野	徹	2020年4月1日
施設部長	須 田	充 彦	2021年4月1日
本法人各部門 教 職 員	髙橋	秀之	2023年4月1日
"	斎 藤	修	2023年4月1日
"	宮本	直規	2021年4月1日
"	佐藤	信幸	2021年4月1日
"	廣江	和 也	2021年4月1日
"	西間木	順	2015年4月1日

	氏 名	就任年月日
本法人各部門 教 職 員	熊 谷 紀 子	2023年7月27日
卒 業 生	(株)清月記代表取締役社長 菅 原 裕 典	2015年6月1日
"	(株)ウジエスーパー代表取締役社長 氏 家 良 典	2018年4月1日
"	認定子ども園あらかわ園長 成 田 智 典	2023年4月1日
"	坂 井 道 郎	2011年4月1日
"	タクシーチケットサービス㈱専務執行役員 高橋博	2022年4月1日
"	㈱阿部蒲鉾店代表取締役社長 阿 部 賀寿男	2021年4月1日
"	仙南タクシー㈱代表取締役 高 澤 雅 哉	2019年4月1日
"	行政書士 菊 地 茂	2023年4月1日
"	中日本建設コンサルタント㈱技術顧問中 西利美	2023年4月1日
"	遠藤和雄	2017年4月1日
"	会同会社未来カンパニー代表取締役社長 長谷昌武	2021年4月1日
"	今田早百合行政書士事務所 行政書士 今 田 早百合	2017年4月1日
学識経験者	本院史資料センター客員研究員 日 野 哲	2015年4月1日
"	共愛学園前橋国際大学長 大森昭生	2019年4月1日
"	仙台ホサナ教会主任担任教師 長尾厚 志	2011年4月1日
"	工 藤 雅 義	2019年4月1日
"	<sup>仙台市副市長</sup> 高橋新悦	2020年6月1日
"	弁護士法人希望 弁護士 森 山 博	2010年4月1日
"	仙台東六番丁教会主任担任教師 中 本 純	2017年4月1日
"	仙台広瀬河畔教会主任担任教師 望 月 修	2005年4月1日
"	本学教職員 佐々木 徳 貴	2021年4月1日

## 6. 法人の主要な審議機関等

2024年3月31日現在

会議の名称	構 成 員
理 事 会	理事長、院長、学長、副学長、高等学校長、法人事務局長、評議員から4人、 学識経験者から10人
評 議 員 会	院長、学部長から6人、宗教部長、総務部長、総務課長、副校長、幼稚園長、 庶務部長、財務部長、施設部長、法人職員から7人、卒業生で25歳以上の者 から12人、学識経験者から10人
常務理事会	理事長、院長、常任理事、学長、副学長、校長、法人事務局長
宗教協議会	理事長、院長、学長、副学長(総務担当)、中学校長、高等学校長、榴ケ岡高等学校長、法人事務局長、副校長、幼稚園長、法人事務局次長、庶務部長、宗教部長、総務部長、総合人文学科長、大学宗教主任、キリスト教文化研究所長、宗教音楽研究所長、宗教センター所長、東北学院史資料センター所長、中学校・高等学校宗教主任、榴ケ岡高等学校宗教主任、宗教センター主任、宗教センターチャプレン、その他院長が委嘱する者
企画委員会	常任理事、学長、副学長、学長室長、校長、幼稚園長、法人事務局長、法人事務局次長、庶務部長、人事部長、財務部長、施設部長、広報部長、総務部長
施設会議	常任理事、学長、副学長、校長、幼稚園長、法人事務局長、法人事務局次長、 庶務部長、財務部長、施設部長、総務部長、総務部次長、庶務課長、財務課 長、施設課長、総務課長、中学校・高等学校事務長、榴ケ岡高等学校事務長、 幼稚園事務長
人 事 会 議	常任理事、副学長(総務担当)、副校長、幼稚園教頭、法人事務局長、法人事務局次長、庶務部長、財務部長、人事部長、総務部長、人事部次長、総務部長、人事課長、総務課長
財務会議	常任理事、学長、副学長、中学校·高等学校長、榴ケ岡高等学校長、幼稚園 長、法人事務局長、法人事務局次長、庶務部長、人事部長、広報部長、財務 部長、施設部長、財務課長、総務部長
広報委員会	常任理事(総務担当)、法人事務局長、法人事務局次長、庶務部長、財務部長、広報部長、広報課長、副学長、学部長、教養教育センター長、学長室長、宗教部長、総務部長、学務部長、入試部長、学生部長、就職キャリア支援部長、情報システム部長、中学校・高等学校副校長、榴ケ岡高等学校副校長、幼稚園教頭

## 7. 教職員の概要

2023年5月1日現在 単位:人

区分		法 人 事務局	大 学	中学校・ 高等学校	榴 ケ 岡高等学校	幼稚園	計
<b>排</b> 昌	本務	0	310 ( 55)	98 (19)	53 (18)	6 ( 6)	467 ( 98)
教員	兼務	0	352 (104)	28 (15)	28 (11)	7 (7)	415 (138)
職員	本務	60 (16)	160 (65)	8 (4)	6 (2)	0	234 ( 87)
	兼務	8 ( 2)	14 ( 12)	2 ( 2)	3 ( 3)	4 ( 4)	31 ( 23)

[備考] 1. 本務〔専任〕教職員の平均年齢

教員 49.42歳 (男50.84歳、女44.06歳)

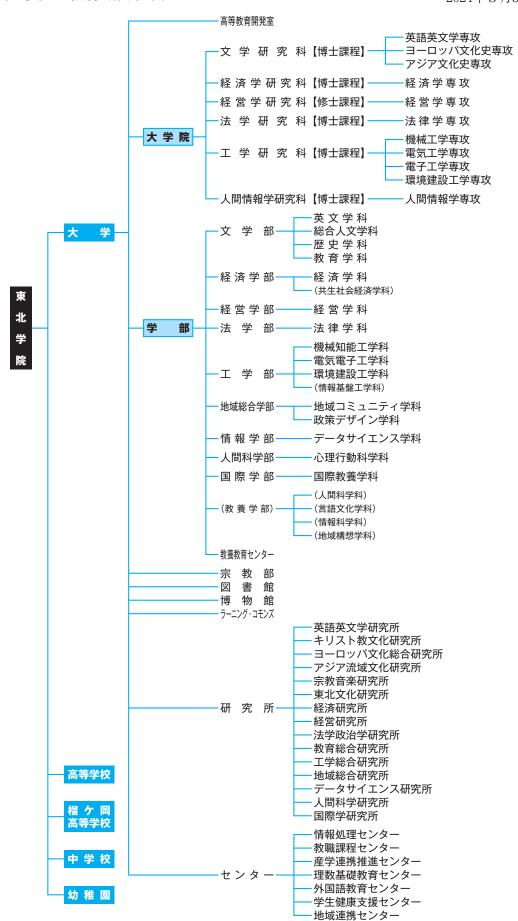
職員 43.13歳 (男45.37歳、女39.33歳)

2. 兼務〔非専任〕教職員の平均年齢

教員 52.16歳 (男52.93歳、女50.61歳)

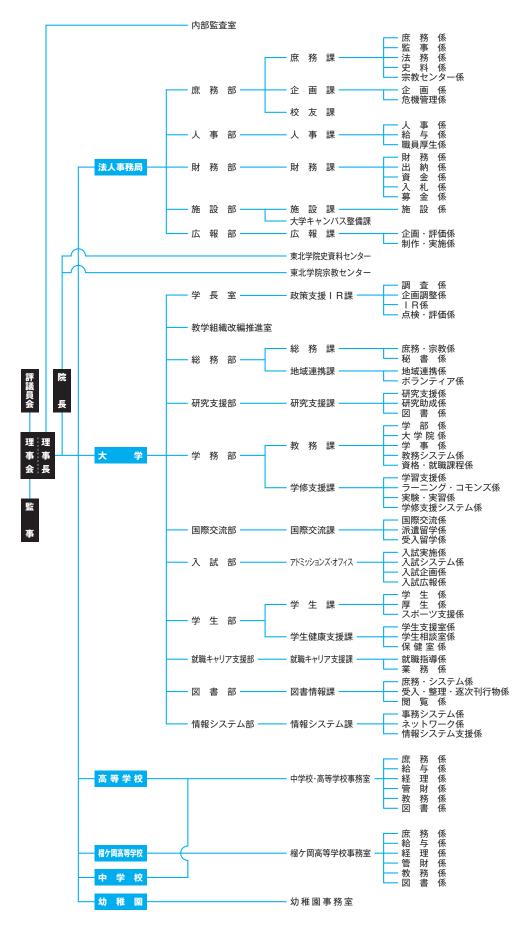
職員 45.87歳 (男47.88歳、女45.10歳)

3. 表中の() は女性内数



- 16 -

**9. 事務組織** 2024年 3 月 31 日 現在



#### 10. 入学定員、編入学定員、収容定員、志願者数、入学者数、在籍者数及び退学・除籍者数

(単位:人)

					202	3. 5. 1現在				2024.	3. 31現在
			7 W 4-F	編入学定	員 ※1	収容定員	t promise and	- W -b	-1-64-40 901	在籍者数	退学・除籍
			入学定員	(2学年次)	(3学年次)	<b>*</b> 2	志願者数	入学者数	在籍者数	*3	者数 ※4
		文 学 研 究 科	20			40	3	2	9	9	(
		経 済 学 研 究 科	8			16	0	0	1	1	(
		経営学研究科(修士課程)	8			16	7	6	14	13	1
	博士課程前期課程	法 学 研 究 科	10			20	2	2	8	8	(
大	刊 77 环 生	工 学 研 究 科	32			64	37	29	67	66	]
		人 間 情 報 学 研 究 科	8			16	15	13	18	17	]
4		小 計	86			172	64	52	117	114	:
学		文 学 研 究 科	7			21	2	2	8	7	]
l		経 済 学 研 究 科	2			6	0	0	1	1	(
院	博士課程	法 学 研 究 科	2			6	0	0	1	1	(
	後期課程	工 学 研 究 科	8			24	1	1	4	4	(
		人間情報学研究科	3			9	1	1	3	3	(
		小 計	22			66	4	4	17	16	1
	大	学院 合計	108			238	68	56	134	130	4
		英 文 学 科	150	6	12	732	658	157	717	704	15
		総合人文学科	60		2	214	451	60	216	211	
	文 学 部	歴 史 学 科	170	2	3	692	786	176	710	701	12
		教 育 学 科	70			220	438	73	228	227	]
		小 計	450	8	17	1,858	2,333	466	1,871	1,843	33
		経 済 学 科	430	6	9	1,786	2,642	444	1,804	1,768	28
	経済学部	共生社会経済学科	<u>*5</u>	4	3	579			605	595	(
		小 計	430	10	12	2,365	2,642	444	2,409	2,363	34
学	経営学部	経 営 学 科	341	6	8	1,398	1,817	351	1,419	1,403	17
	法 学 部	法 律 学 科	355	4	6	1,453	1,595	363	1,476	1,456	17
		機械知能工学科	115		6	457	705	119	464	458	11
		電気電子工学科	130		6	472	656	133	475	464	14
	工 学 部	環境建設工学科	115		5	455	470	120	456	452	
			<u>*5</u>		5	340			337	335	
		小計	360		22	1,724	1,831	372	1,732	1,709	33
	地域総合	地域コミュニティ学科	150			150	846	154	154	54	1
	学部	政策デザイン学科	145			145	741	153	153	71	4
	tele dati wa 111	小計	295			295	1,587	307	307	125	3
部	情報学部	データサイエンス学科	190			190	1,289	213	213	213	(
	人間科学部	心理行動科学科	165			165	794	168	168	168	(
	国際学部	国際教養学科	130			130	600	134	134	132	2
		人間科学科		2	2	340			346	339	(
	业 类 ル か	言 語 文 化 学 科		2	2	340			348	340	7
	教養学部 ※5	情報科学科		2	2	340			347	342	10
		地域構想学科		2	2 8	340			351	341	10
	学	小 計	9710	8		1,360	14.400	2010	1,392	1,362	29
大	子	部 合 計 学	2,716 2,824	36	73	10,938	14,488 14,556	2,818 2,874	11,121	10,774	168
高	 等		360			11,176	2,837	389	11,255 1,308	1,291	*8 17
榴	<del>- す</del> ケ 岡	高等学校	270			810	1,419	329	1,308	831	× 8 1
中	- フ	高 守 子 枚           学 校	× 6 300			900	331	187	509	508	*8 2
幼		稚園	* 7 30			200	36	33	96	99	* 8 Z
الم	総	計	3,784		109	14,166	30	აპ	14,019	13,633	211
	形心	ĒΙ	3,784		109	14,100			14,019	13,033	21.

[注]

- [注]
  \*\*1 編入学定員は、2年次は2022年度より、3年次は2023年度より適用。
  \*\*2 収容定員は、学部が2020年度から、大学院が修了年限に応じて2021年度又は2022年度からの合計定員を記載。
  \*\*3 2024年3月31日現在の在籍者数は、修了者数、卒業者数、卒園者数及び2024年3月31日付け退学・除籍者数を含む。
  \*\*4 2024年3月31日現在の退学・除籍者数は、2023年度内の退学・除籍者数である。ただし、2023年度内に復籍手続をした数及び2024年3月31日付け退学・接籍者を除く。
  \*\*5 複籍手続をした数及び2024年3月31日付け退学・除籍者を除く。
  \*\*5 経済学部共生社会経済学科、工学部情報基盤工学科、教養学部人間科学科、同言語文化学科、同情報科学科、同地域構想学科は、2023年4月募集停止。
  \*\*6 中学校の入学定員300人は学則の入学定員。募集人数は180人。
  \*\*7 幼稚園の入学定員300人は3歳時の募集人数を記載。
  \*\*8 中学校・高等学校の退学・除籍者数には転校を含む。

- ※8 中学校・高等学校の退学・除籍者数には転校を含む。

				2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
			収容定員	868	815	762	762	732
		英文学科	在籍者数	878	805	757	751	717
			充 足 率	1.01	0.98	0.99	0.98	0.97
		英文学科	収容定員					
		(昼間主)	在籍者数	6	1			
		(221 4 22)	充足率					
		英文学科	収容定員					
		(夜間主)	在籍者数	1				
			充足率	1.04	104	204	204	214
	文学部	総合人文 学 科	収容定員 在籍者数	164 185	184 196	204 216	204	214 216
	又子叩	学科	充足率	1.12	1.06	1.05	1.03	1.00
			収容定員	654	673	692	692	692
		歴史学科	在籍者数	694	692	709	705	710
		(E) 人 丁 竹	充足率	1.06	1.02	1.02	1.01	1.02
			収容定員	100	150	200	200	220
		教育学科	在籍者数	110	159	208	210	228
			充足率	1.10	1.06	1.04	1.05	1.03
			収容定員	1,786	1,822	1,858	1,858	1,858
		小 計	在籍者数	1,874	1,853	1,890	1,877	1,871
			充足率	1.04	1.01	1.01	1.01	1.00
			収容定員	1,722	1,759	1,796	1,796	1,786
		経済学科	在籍者数	1,838	1,821	1,857	1,827	1,804
			充足率	1.06	1.03	1.03	1.01	1.01
	47 24 25 40	共生社会	収容定員	736	751	766	766	579
	経済学部	経済学科	在籍者数	782	777	789	796	605
			充 足 率 収容空量	2.458	2510	2.562	2.562	2 365
		小 計	収容定員	2,458	2,510	2,562	2,562	2,365
		Lu at	在籍者数 充 足 率	2,620 1.06	2,598 1.03	2,646 1.03	2,623 1.02	2,409 1.01
			収容定員	1,342	1,370	1,398	1,398	1,398
	経営学部	経営学科	在籍者数	1,342	1,370	1,423	1,423	1,390
	J HP		充足率	1.04	1.01	1.01	1.01	1.01
			収容定員	1,394	1,425	1,456	1,456	1,453
	法学部	法律学科	在籍者数	1,502	1,487	1,485	1,478	1,476
			充足率	1.07	1.04	1.01	1.01	1.01
		140 4 15 600 616	収容定員	462	452	452	452	457
357		機械知能工学科	在籍者数	472	456	448	464	464
学		- T-11	充足率	1.02	1.01	0.99	1.02	1.01
		雷与桔却	収容定員	126				
		電気情報 工 学 科	在籍者数	150	9	3_	1	0
		上于石	充足率	1.19				
		電気電子	収容定員	336	452	452	452	472
		工学科	在籍者数	331	435	451	453	475
			充足率	0.98	0.96	0.99	1.00	1.00
	工学部	電 子工学科	収容定員	105	10			
	上 字 部	工学科	在籍者数 充 足 率	121 1.15	18	3	0	0
			収容定員	440	450	450	450	455
		環境建設	在籍者数	474	466	451	456	456
		工学科	充足率	1.07	1.03	1.00	1.01	1.00
			収容定員	335	450	450	450	340
		情報基盤	在籍者数	332	435	443	446	337
		L + 11	充 足 率	0.99	0.96	0.98	0.99	0.99
部			収容定員	1,804	1,804	1,804	1,804	1,724
		小 計	在籍者数	1,880	1,819	1,799	1,820	1,732
			充足率	1.04	1.01	0.99	1.00	1.00
		地 域	収容定員					150
		コミュニ ティ学科	在籍者数					154
		7 1 3-11	充足率					1.02
	地域総合	政策デザ	収容定員					145
	学 部	イン学科	在籍者数 充 足 率					153 1.05
			収容定員					295
		小 計	在籍者数					307
		" "	充足率					1.04
		データサ	収容定員					190
	情報学部	イエンス	在籍者数					213
		学 科	充足率					1.12
	Д нн	心理行動	収容定員					165
	人 間科学部	心理行動 科 学 科	在籍者数					168
			充足率					1.01
	国際产品	国際教養	収容定員					130
	国際学部	学	在籍者数					134
		''	充 足 率	432	441	450	450	1.03
		人 間	収容定員 在籍者数	432	441	450 454	460	340 346
		科学科	充足率	1.06	1.03	1.00	1.02	1.01
			収容定員	432	441	450	450	340
		言語文化 学 科	在籍者数	461	455	460	469	348
		子   科	充足率	1.06	1.03	1.02	1.04	1.02
		Late 11	収容定員	432	441	450	450	340
	教養学部	情 報科学科	在籍者数	461	457	454	461	347
	教養学部		充足率	1.06	1.03	1.00	1.02	1.02
	教養学部	科 字 科		432	441	450	450	340
	教養学部		収容定員					
	教養学部	地域構想	収容定員 在籍者数	458	457	466	461	351
	教養学部		在籍者数 充 足 率	458 1.06	1.03	1.03	1.02	1.03
	教養学部	地域構想学科	在籍者数 充 足 率 収容定員	458 1.06 1,728	1.03 1,764	1.03 1,800	1.02 1,800	1.03 1,360
	教養学部	地域構想	在籍者数 充 足 率 収容定員 在籍者数	458 1.06 1,728 1,841	1.03 1,764 1,824	1.03 1,800 1,834	1.02 1,800 1,851	1.03 1,360 1,392
	教養学部	地域構想学科	在籍者数 充 足 率 収容定員 在籍者数 充 足 率	458 1.06 1,728 1,841 1.06	1.03 1,764 1,824 1.03	1.03 1,800 1,834 1.01	1.02 1,800 1,851 1.02	1.03 1,360 1,392 1.02
		地域構想学科	在籍者数 充 足 率 収容定員 在籍者数 充 足 率 収容定員	458 1.06 1,728 1,841 1.06 10,512	1.03 1,764 1,824 1.03 10,695	1.03 1,800 1,834 1.01 10,878	1.02 1,800 1,851 1.02 10,878	1.03 1,360 1,392 1.02 10,938
		地域構想学科	在籍者数 充 足 率 収容定員 在籍者数 充 足 率	458 1.06 1,728 1,841 1.06	1.03 1,764 1,824 1.03	1.03 1,800 1,834 1.01	1.02 1,800 1,851 1.02	1.03 1,360 1,392 1.02

大学 合 計 で表現 大学 中央 大学 中央 大学 中央 中央 大学 中央 中央 中央 中央 大学 中央 中央 中央 大学 中央							2023	10	1 1	光生
大学専攻   大大学   大学専攻   大大学   大学専攻   大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大大学   大大大学   大大大大学   大大大大学   大大大大学   大大大大大学   大大大学   大大大大学   大大大大学   大大大大大大大大						2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大学専攻   大大学   大学専攻   大大学   大学専攻   大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大大学   大大大学   大大大学   大大大学   大大大大学   大大大学   大大大大学   大大大大学   大大大大学   大大大大大学   大大大学   大大大大学   大大大大学   大大大大大大大大				な事サム	収容定員			20	20	20
大 字 会				央 品央 人	在籍者数		1	1		
大学院   大学				丁 寸 久		0.00	0.05	0.05	0.10	0.05
大学院   大学			-Jr- 334s	ヨーロッ	収容定員	10	10	10	10	10
大学  日本語			又 字 研 空 科	パ文化史	在籍者数	3	4	4	4	3
大学			101 76 14	専 攻	充足率	0.30	0.40	0.40	0.40	0.30
大学  日本語					収容定員	10	10	10	10	10
大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学				アンア人	在籍者数	11	7	6	10	5
大学   日本語文字   日本語文字字   日本語文字字   日本語文字字   日本語文字字   日本語文字字字   日本語文字   日本語文字字字   日本語文字   日本語文   日本語文字   日本語文文字   日本語文字   日本語文字   日本語文字   日本語文字   日本語文字   日本語文文字   日本語文字   日本語文字   日本語文字				几人子久	充足率	1.10	0.70	0.60	1.00	0.50
本			Arr who MA	ACT Table 304.	収容定員	16	16	16	16	16
本			経済子	柱 済 子	在籍者数	0	1	1	2	1
博士課程			191 76 11	7 7	充足率	0.00	0.06	0.06	0.12	0.06
接上課程   150   1.37   0.93   0.62   0.87     接上課程   法律 学   民籍   20   20   20   20   20   20     法律 学   民籍   20   20   20   20   20   20     大 学   日本   大 学   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本			経営学	57 JUL 314	収容定員	16		16	16	16
接上課程   150   1.37   0.93   0.62   0.87     接上課程   法律 学   民籍   20   20   20   20   20   20     法律 学   民籍   20   20   20   20   20   20     大 学   日本   大 学   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本			研究科	経 呂 子	在籍者数	24	22	15	10	14
中部課権			(修士課程)	寸 久		1.50	1.37	0.93	0.62	0.87
前期課程   研究科   専 攻   売削車		Lib II SHI CI	N+ 294	H 44 H	収容定員	20	20	20	20	20
大 定 学			法 字 研 空 科	法 律 字		5	5	9	12	8
大		刊列1771年	101 76 11	一 女	充足率	0.25	0.25	0.45	0.60	0.40
中央				140 + 4 - 7 224	収容定員	16		16	16	16
大					在籍者数	24	25	23	19	21
大   中央				<b>サ</b> 女		1.50		1.43	1.18	1.31
大   中				<b>電片工</b> 쓰	収容定員	16	16	16	16	16
大   大   中   大   中   下   下   下   下   下   下   下   下   下				直 五 方		11			14	17
大   中			工 学	7 5	充 足 率	0.68	1.12	1.12	0.87	1.06
大   中   大   上   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	٠.		研究科	ポファ ニ	収容定員	16	16	16		16
大   中   大   上   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	人			电丁上子	在籍者数	15	11	14	23	19
大学  日本語   大学  日本語   大学  日本語   大学  日本語   大学  日本語   大学  日本語   大大学  日本語   大大大学  日本語   大大学  日本語   大大学  日本語   大大学  日本語   大大学  日本語   大大学  日本語   大大学  日本語   大大大学  日本語   大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大				- ·^	充足率	0.93	0.68	0.87	1.43	1.18
大学   中   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本				Y=1.4×7.4±30.	収容定員	16	16	16	16	16
大					在籍者数	8	15	11	8	10
学 学 学 学 学 学 内部 学 子 学 内部 学 子 学 内部 学 子 学 内部 学 子 学 内部 学 内部				T144	充足率	0.50	0.93	0.68	0.50	0.62
学研究科   学専攻   元程名数   3   0.50   0.56   0.56   0.56   1.12     英語英文   文書文   大   学専攻   元定率   0.31   0.11   0.11   0.22   0.22     京元   で表書   で表書   で表書   0.00   0.00   0.00   0.16   0.			I BB labrati	I HH lek ±II	収容定員	16	16	16	16	16
大   字   京   大   字   京   京   京   京   京   京   京   京   京			人间 情報 学研究科	人间 情報		5	8	9	9	18
大学院   大学院	24		子切光件	丁 寸 久	充足率	0.31	0.50	0.56	0.56	1.12
院	7-			++-==+L-	収容定員	9	9	9	9	9
院				央韶央乂   営 恵 改	在籍者数	3	1	1	2	
大学				丁 寸 久	充足率	0.33	0.11	0.11	0.22	0.22
院			-l <sub>e</sub> 234	ヨーロッ	収容定員	6	6	6	6	6
院			又 字 科	パ文化史		0	0	0	1	1
R			191 76 11	専 攻	充 足 率	0.00	0.00	0.00	0.16	0.16
大学  中球性   大学  中球性   大学  中球性   大学  中球性   大大学  日本   大大学  中球性   大大学  日本   大大学  中球性   大大学  日本   大大大学  日本   大大大学  日本   大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大				マンシマナ		6	6	6	6	6
A	除				在籍者数	3	4	4	4	5
特別	"			几义守权	充 足 率	0.50	0.66	0.66	0.66	0.83
博士課程			47 37 H	47 37 24	収容定員	6	6	6	6	6
大 学   大 + 学   上 + 大 + 学   上 + 大 + 学   上 + 大 + 学   上 + 大 + 学   上 + 大 + 上 + L + L + L + L + L + L + L + L + L			経済字	柱 ) 子   古	在籍者数	1	1	1	1	1
博士課程   接   東   東   東   東   東   東   東   東   東			191 76 11	9 %	充足率	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
博士課程 後期課程    横城工学 専 攻			计 严	计 体 些	収容定員	6	6	6	6	6
大学院  計画情報   大学院  計画情報   大学院  計画情報   大学院  計画作業   大学院   計画作業   大学院   計画作業   大学院   計画作業   大学院   計画作業   大学院   計画作業   大学院   11,111111111111111111111111111111111			岳 空 科	年子					1	
後期課程		博士課程	-91 76 TT	マ 以		0.00				0.16
東京     在籍名数     0 <td< td=""><td></td><td>後期課程</td><td></td><td>地上小丁半</td><td>収容定員</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></td<>		後期課程		地上小丁半	収容定員	6	6	6	6	6
大 学   大 学   大 学   大 学   大 学   日   大 学   日   大 学   日   大 学   日   大 学   日   大 学   日   大 学   日   大 学   日   大 学   日   大 使   日   日   日   日   日   日   日   日   日				1灰(水上子						
中央   中央   中央   中央   中央   中央   中央   中央			工	, ,						
工 学研究科     専 攻 (元 定率 0.16 0.06 0.00 0.50 0.50 0.50 0.50 0.50 0.5				<b>電信工</b> 學						
大学   大学   大学   大学   日本籍者数   117   126   121   1120   11255   1120   1120   11255   1120   1120   11255   1120   1120   11255   1120   11255   1120   1120   11255   1120   112				电双上子 市	在籍者数	1	1		3	3
東子上字 専工学事文     在籍者数     0     0     0     0     0     0       大屋率     0,00     0,00     0,00     0,00     0,00     0,00     0,16       環境建設 工学専攻     在籍者数     0<				, ,		0.16	0.16	0.00	0.50	0.50
中文     正報名級     0 <td< td=""><td></td><td></td><td>研究科</td><td><b>電</b>乙十四</td><td>収容定員</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>6</td></td<>			研究科	<b>電</b> 乙十四	収容定員					6
大   字   元   元   元   元   元   元   元   元   元						0	0	0	0	
大学時次     大学時次     在籍者数     0     3     0     3     3     3     3     3     3     0			人間情報	7 7		0.00	0.00	0.00	0.00	0.16
工学専攻     出籍報息     0     0     0     0     0     0       人間情報 学研究科     人間情報 学 専 攻     V容定員 推養者数     9     9     9     9     9     9       大     学 院     計     化整定員 在籍者数     238     238     238     238     238     238     238       大     学     院     計     在籍者数     117     126     121     128     134       大     学     合     計     化套子     0.49     0.52     0.50     0.53     0.56       大     学     合     計     在籍者数     11.231     11.104     11.198     11.200     11.255				T馬-k☆ 7-1+-∋几				6	6	
大門情報 学研究科     人間情報 学可究科     人間情報 学可究科     人間情報 空可究社     のののののののののののののののののののののののののののののののののののの				塚児建設   丁学貞改		0	0	0	0	
人間情報 学研究科 学研究科 大     人間情報 完成之率 (元之率)     3 (元之率)     2 (33)     3 (22)     3 (33)     238 (28)				人間情報		0.00	0.00		0.00	0.00
学研究科         学専攻         正報台級 充足率         0.3         0.22         0.33         0.34         238								9		9
大学院計     計     充足率     0.33     0.22     0.33     0.33     0.33       大学院計     取答定員     238     238     238     238     238     238     238       大学院計     在籍者数     117     126     121     128     134       大學內計     取答定員     10,750     10,933     11,116     11,116     11,116     11,116       大學內計     在籍者数     11,231     11,104     11,198     11,200     11,255					在籍者数					
大学院計 在籍者数 117 126 121 128 134 光足率 0.49 0.52 0.50 0.53 0.56 収容定員 10.750 10.933 11.16 11.176 11.176 大学合計 在籍者数 11.231 11.104 11.198 11.200 11.255			ナルガルギ	十 守 以						
充足率         0.49         0.52         0.50         0.53         0.56           収容定員         10,750         10,933         11,116         11,116         11,176           大学合計         在籍者数         11,231         11,104         11,198         11,200         11,255				計	収容定員	238	238	238	238	
充足率         0.49         0.52         0.50         0.53         0.56           収容定員         10.750         10.933         11.116         11.116         11.176           大学合計         在籍者数         11.231         11.104         11.198         11.200         11.255		大	学 院			117		121	128	134
大 学 合 計 在籍者数 11,231 11,104 11,198 11,200 11,255					充足率					
						10,750	10,933	11,116		
		大 学	: 合	計		11,231				
					充足率	1.04	1.01	1.00	1.00	1.00

# 12. 修了者数、卒業者数及び卒園者数

(単位:人)

					0001 6 6	0000 to the	(年四・八)
					2021年度	2022年度	2023年度
				文学研究科英語英文学専攻		1	1
				文学研究科ヨーロッパ文化史専攻	2	2	1
				文学研究科アジア文化史専攻	0	4	3
				経済学研究科経済学専攻	0	1	1
	İ			経営学研究科経営学専攻(修士課程)	12	2	6
	博	士 課	程	法学研究科法律学専攻	2	4	4
	前	期課		工学研究科機械工学専攻	<del> </del>	7	13
				工学研究科電気工学専攻		6	7
,				工学研究科電子工学専攻		8	14
大				工学研究科環境建設工学専攻		3	5
				人間情報学研究科人間情報学専攻		3	3
					59	41	<u>5</u>
学							
				文学研究科英語英文学専攻		1	0
				文学研究科ヨーロッパ文化史専攻		0	0
院				文学研究科アジア文化史専攻	+	0	0
PJE				経済学研究科経済学専攻		0	0
	抽	士 課	担	法学研究科法律学専攻		0	0
	博 後			工学研究科機械工学専攻		0	0
	12	79J H/K	111	工学研究科電気工学専攻	0	0	0
				工学研究科電子工学専攻	0	0	0
				工学研究科環境建設工学専攻	0	0	0
				人間情報学研究科人間情報学専攻	0	1	0
				小 計	0	2	0
			大		59	43	58
				英文学科		188	175
				総合人文学科		53	41
	文	学	部	歴史学科	171	158	158
		子	미		47		49
					1	52	
				小計	450	451	423
	経	\ \\	al are	経 済 学 科		428	403
		済 学	部	共 生 社 会 経 済 学 科	+	180	190
227.				小 計	646	608	593
学	経	営 学				342	339
	法	学	部	法 律 学 科	366	351	337
				機械知能工学科	99	106	98
				電 気 情 報 工 学 科	2	0	0
	エ		部	電気電子工学科	111	100	103
		学		電 子 工 学 科	3	0	0
部				環境 建設 工 学 科	101	110	105
				情報基盤工学科		103	100
				小計	415	419	406
				人 間 科 学 科		114	109
				言語文化学科		111	109
	¥/r	養学	部	ļ		107	107
	拟	食 子	미				
				地域構想学科		106	110
	<u> </u>		7/1	小計	429	438	435
	<u> </u>		学		2,654	2,609	2,533
大				学		2,652	2,591
高			等			319	299
榴		ケ	尚		262	281	239
中				学校	157	135	131
幼				稚	60	32	35
			総	計	3,498	3,419	3,295

<sup>[</sup>注] ※ 9月期卒業者及び早期卒業者を含む。なお、9月期卒業生は、異動日の年度に記載している。

# 13. 授業料、入学金その他学校が徴収する費用

(単位:円)

1 بدر	lek tini		種別	区			学納	金 ( 4	年 額)		
子	校別		学 年	分	入 学 金	授 業 料	施設設備資金	実験実習料		各種負担金	計
		英語英文学専攻	前期課程1年		270,000	617,000	210,000		20,000		1,117,000
	文	ヨーロッパ文化史専攻		*	0	617,000	210,000		20,000	_	847,000
		アジア文化史専攻	前期課程2年	$\perp$		617,000	210,000		20,000	_	847,000
	経済	経済学専攻	後期課程1年		270,000	617,000	210,000	<u> </u>	20,000		1,117,000
	経営	経営学専攻	() III = m 4 m - ()	*	0	617,000	210,000		20,000		847,000
	法	法 律 学 専 攻	後期課程2年	$\vdash$	_	617,000	210,000		20,000	_	847,000
大		18 14 T W = 4	後期課程3年	$\perp$		617,000	210,000	-	20,000	_	847,000
		機械工学専攻	前期課程1年		270,000	640,000	260,000	95,000	20,000		1,285,000
		電気工学専攻	25 HI SHI 10 O O	*	0	640,000	260,000	95,000	20,000		1,015,000
224		電子工学専攻	前期課程2年	$\vdash$	070,000	640,000	260,000	95,000	20,000	_	1,015,000
学	エ	環境建設工学専攻	後期課程1年		270,000	640,000	260,000	95,000	20,000		1,285,000
			後期課程2年	*	0	640,000 640,000	260,000 260,000	95,000 95,000	20,000		1,015,000
			後期課程3年	+		640,000	260,000	95,000	20,000		1,015,000
院		人間情報学専攻	前期課程1年	₩	270,000	640,000	250,000	95,000	20,000	<del>-</del>	
I)L		八月月秋子号以	刊 別 沐 往 1 平	*	270,000	640,000	250,000	<u>-</u>	20,000		1,180,000 910,000
	1		前期課程2年	-	0	640,000	250,000	<del></del>	20,000	_	910,000
	間		後期課程1年	+	270,000	640,000	250,000	<del></del>	20,000		1,180,000
	情報			*	270,000	640,000	250,000	<del> </del>	20,000		910,000
	~		後期課程2年			640,000	250,000		20,000	_	910,000
			後期課程3年	+		640,000	250,000	<del>                                     </del>	20,000		910,000
$\vdash$		英文学科	1 年	+	270,000	780,000	210,000	<del>                                     </del>	20,000		1,280,000
		総合人文学科	2 年	+	210,000	780,000	210,000	<del>+</del>	20,000		1,010,000
		歴 史 学 科	3 年	$\vdash$		780,000	210,000	<del>                                     </del>	20,000		1.010,000
		业 人 于 符	4 年	+		780,000	210,000	<del></del>	20,000		1,010,000
	文	教 育 学 科	1 年	+	270,000	874.000	250,000	<del>                                     </del>	20,000		1,414,000
1		1 7 H	2 年	+	210,000	874,000	250,000	<u> </u>	20,000	_	1,144,000
			3 年	+	_	874,000	250,000	_	20,000	_	1,144,000
			4 年	+		874,000	250,000		20,000	_	1,144,000
		経済学科	1 年	+	270,000	780,000	210,000	t	20,000	_	1,280,000
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 年	$\vdash$	210,000	780,000	210,000	<u> </u>	20,000	_	1,010,000
			3 年	+		780,000	210,000	<u> </u>	20,000	_	1,010,000
	経済		4 年	$\vdash$	_	780,000	210,000	<del>                                     </del>	20,000	_	1,010,000
	12.01	共生社会経済学科	2 年	+		780,000	210,000	<u> </u>	20,000	_	1,010,000
		N T E Z E G T T	3 年	$\vdash$		780,000	210,000	<del></del>	20,000		1,010,000
			4 年	+		780,000	210,000	<u> </u>	20,000	_	1,010,000
١.		経営学科	1 年	+	270,000	780,000	210,000	<u> </u>	20,000	_	1,280,000
大		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 年	+	210,000	780,000	210,000	<u> </u>	20,000	_	1,010,000
i	経営		3 年	+		780,000	210,000	<u> </u>	20,000	_	1,010,000
			4 年	$\vdash$		780,000	210,000	<u> </u>	20,000	_	1,010,000
		法 律 学 科	1 年	$\vdash$	270,000	780,000	210,000	<u> </u>	20,000	_	1,280,000
			2 年	$\vdash$		780,000	210,000	_	20,000	_	1,010,000
İ	法		3 年	$\vdash$	_	780,000	210,000		20,000	_	1,010,000
			4 年	$\vdash$	_	780,000	210,000		20,000	_	1,010,000
学		機械知能工学科	1 年	$\vdash$	270,000	1,078,000	260,000	70,000	20,000	_	1,698,000
子		電気電子工学科	2 年	$\Box$	_	1,078,000	260,000	70,000	20,000	_	1,428,000
1		環境建設工学科	3 年	$\Box$	_	1,078,000	260,000	70,000	20,000	_	1,428,000
l	エ		4 年	$\Box$	_	1,078,000	260,000	70,000	20,000	_	1,428,000
1		情報基盤工学科	2 年	$\Box$		1,078,000	260,000	70,000	20,000		1,428,000
			3 年	$\Box$	_	1,078,000	260,000	70,000	20,000	_	1,428,000
	L		4 年	П	_	1,078,000	260,000	70,000	20,000	_	1,428,000
	地域	地域コミュニテイ学科	1 年	$\Box$	270,000	974,000	250,000		20,000		1 /1 / 000
	総合	政策デザイン学科	1 平	$\perp$	270,000	874,000	200,000		20,000		1,414,000
	情報	データサイエンス学科	1 年		270,000	874,000	250,000	70,000	20,000	_	1,484,000
	人間	心理行動科学科	1 年		270,000	874,000	250,000	_	20,000	_	1,414,000
1	科学		· ·	$\perp$							
	国際	国際教養学科	1 年	$\perp$	270,000	874,000	250,000	_	20,000	_	1,414,000
		人 間 科 学 科	2 年		- '	874,000	250,000	-	20,000	-	1,144,000
	教養	言語文化学科	3 年	$\Box$	_	874,000	250,000	_	20,000	_	1,144,000
1	27.55	情報科学科		+			_	<u> </u>	· ·	<del></del>	, ,
		地域構想学科	4 年	+		874,000	250,000		20,000		1,144,000
					146,000	396,000	172,000	_	96,000	_	810,000
			1 年	ļ			© (64,000)		02000	ļ	F05 000
高		高校		*	73,000	396,000	172,000	_	96,000	_	737,000
			0 5	+	<u> </u>	200,000	© (64,000)		02.000	<b></b>	200,000
			2 年	+	_	396,000	108,000	_	96,000	_	600,000
			3 年	+	140,000	396,000	108,000	_	96,000	_	600,000
松			1 年		146,000	396,000	172,000	_	96,000	_	810,000
校		榴ケ岡	-	+	<u> </u>	200,000	© (64,000)		02.000	<b></b>	200,000
			2 年	+	_	396,000	108,000		96,000	_	600,000
			3 年	+		396,000	108,000		96,000	_	600,000
			1 年		96,000	360,000	172,000	_	96,000	_	724,000
l							O (64,000)				
	中	学 校	0 4	-		000000	100000		00000		
	中	学 校	2 年 3 年	П		360,000 360,000	108,000 108,000		96,000 96,000		564,000 564,000

学校別	種 別 区	学 納 金	(年 額)	
子仪剂	学 年 分	教育充実費 施設充実費	施設維持費計	
幼 稚 園	入 園 児	33,000 15,000	18,000 66,000	0
幼稚園	3・4・5歳時クラス		18,000 18,000	0

注1. \*は、本院内からの入学者納付金を示す。 注2. ◎は、施設設備資金のうち、入学時徴収額を示す。

#### 14. 所在地

東北学院大学 土樋キャンパス 東北学院大学 五橋キャンパス 東北学院大学 泉キャンパス 東北学院高等学校 東北学院榴ケ岡高等学校 東北学院中学校 東北学院幼稚園 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 仙台市若林区清水小路3番1号 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1号 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1号 多賀城市高崎三丁目7番7号

